

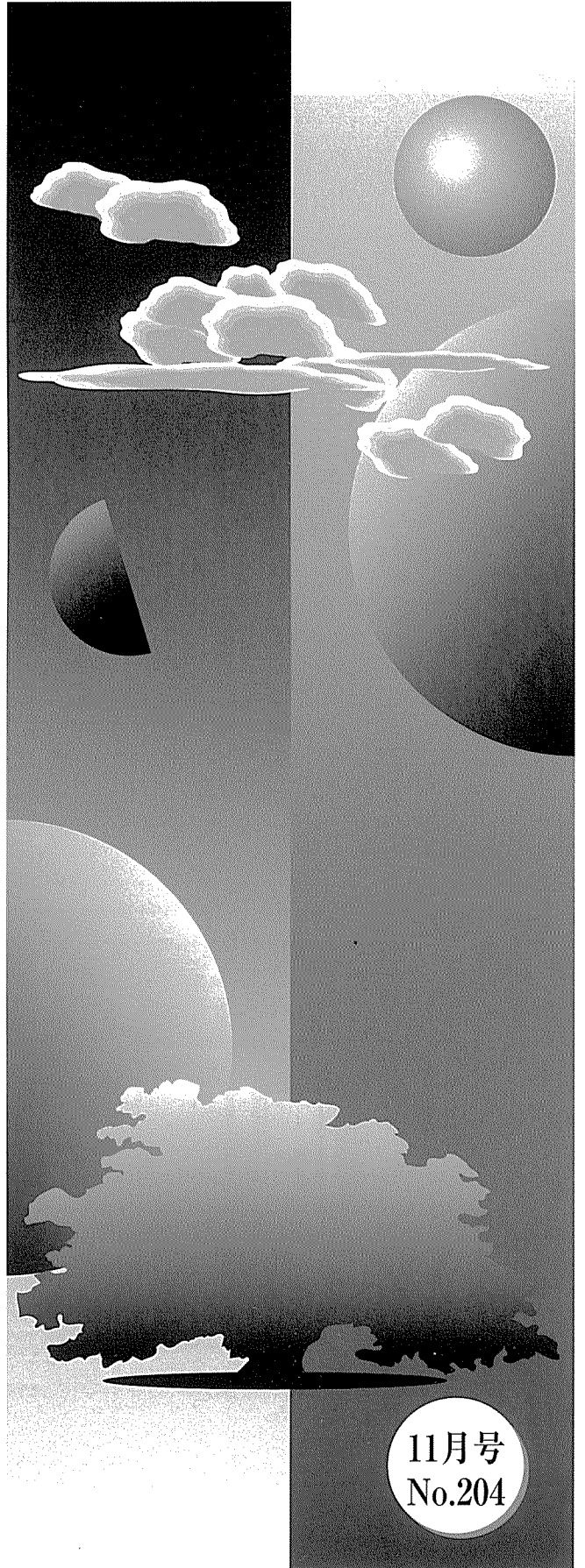
月刊

建材

ナビ

特集：ハイグレードなビルファサード・エントランスづくりを支えるステンレスサッシ・フロント材

特集：高意匠・高耐候・高機能の住宅長寿命化対応商品を拡大する窯業系外装材／住宅外装リフォーム市場での需要拡大をねらう金属サイディング



11月号
No.204

ミルト出版会
〒182-0023 東京都調布市染地3-1-87
ト-1-407号
☎042-484-4507
FAX 042-484-4509
発行人 堤 祥行
年間講読料 30,000円(送料・税込)

建材 navi 11月号-No.204 目次

- 特集** ハイグレードなビルファサード・エントランス
づくりを支えるステンレスサッシ・フロント材 5
- 特集** 高意匠・高耐候・高機能の住宅長寿命化対応商品を
拡大する窯業系外装材/住宅外装リフォーム市場での
需要拡大をねらう金属サイディング 12
- 【環境・健康建材コーナー】** 3
- 【新製品・新技術情報/業界の動き】** 20

© Miruto Shuppankai Ltd.2015 無断転載・コピーを禁ず



ナブコシステムは時代の変化や要求に応じた、製品とサービスの質的向上を目指します。



多機能トイレ自動ドア



トップライト



スタッキングドア

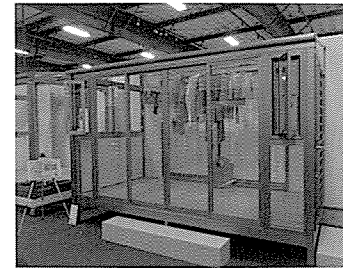
NABCO ナブコシステム株式会社

<http://www.nabcosystem.co.jp/>

【環境・健康建材コーナー】

LIXIL

新テラス囲い「サニージュ」新発売、風を効率的に取りこめる縦すべり出し窓の標準設定で、従来品の2倍のスピードで洗濯物を乾燥、商品組立時間も約4割削減



LIXIL(藤森義明社長)は、新テラス囲い「サニージュ」を12月1日から全国発売を開始する。主力商品「テラス」の刷新と競争力アップの一環で、10月新発売した新テラス屋根「スピーネ」「シュエット」につづく、現行品「ほせるんですII」の進化形。

「サニージュ」の特長は、テラス囲いでもっとも使用頻度の高い「洗濯物の乾きやすさ」にこだわったこと。

縦すべり出し窓を正面左右に配置した「サニージュ」は、室温25度C・湿度60%・衣服表面温度19.2度Cの算定条件下で、外部風速2~5m/s相当の風をウィンドキャッチ効果でテラス囲いの中に0.5m/s取り込み、従来品よりも約2倍のスピードで乾燥させることができるとのデータを得ている。これにより洗濯に関する大きな悩みを解消することをめざしている。

また、施工者が求めていた施工性についても、従来品よりも部品数3割減・ネジ種類5割減・ネジ本数1割減により組立時間を4割削減したほか、シーリング工数の削減、作業効率化ガイドの

取扱説明書への明記で作業時間の短縮を図っている。

バリエーションは、1階設置用に囲いタイプ(床納まり・土間納まり)とハーフ囲いタイプ、オープンタイプ、2階用に造り付けバルコニー納まり・アルミバルコニー納まり、部分囲い仕様などを用意。

屋根材は、ポリカーボネート3種・熱線吸収ポリカーボネート・熱線吸収アクアポリカーボネート。F型直線形状・R型カーブライン形状。床材は、人工木デッキ3色・塩ビ製デッキボード仕様2色・フローリング仕様(囲いタイプのみ)。積雪対応は、耐積雪20cm相当・50相当・100cm相当の3種類。

オプションとして、「上下可動物物干し」、高さ調整付「吊下げ物干し」をはじめ、内装機能建材「エコカラットプラス」などを用意する。本体参考価格——F型床納まり標準タイプ(2間×6尺)の正面:開口縦すべり出し窓+テラスサッシ、側面:採風ドア仕様で99万1700円。

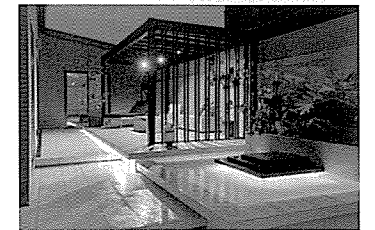
YKKAP

YKKAP大賞にリレーリア採用の「(株)neutral」選出、受賞の全39作品を表彰

YKKAP(堀秀充社長)は、第5回「エクステリアデザイン施工フォトコンテスト」の審査を行ない、応募作品2231点の中からYKKAP大賞のリレーリア(独立式)を採用した「株式会社ne

utral」(名古屋市)の施工作品をはじめ、各部門の金賞・銀賞・銅賞など全39作品を選出、表彰した。

大賞を受賞した「株式会社neutral」は、「庭にリビングをつくる」というコンセプトで、「リレーリア」の直線を美しく見せ、浮遊感のあるデザインを意識した。水盤と、ルイス・バラガンを彷彿とさせるアクセントカラー(ビビットピンク)で海外リゾートのようなガーデンを実現したとコメントする。



各部門の金賞受賞者は以下の通り——◇エクステリアリフォーム部門:(株)タケウチ(福岡市)。◇門、車庫まわり部門:(株)neutral(名古屋市)。◇窓、庭まわり部門:(有)シンセイ産業(久留米市)。◇ファミリー部門大賞:(株)奈良規松緑化(生駒市)。

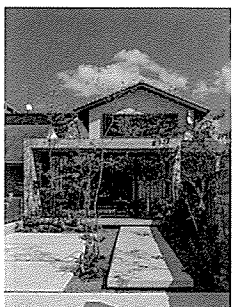
EX外構のトータルコーディネート商品「ルシアス」グッドデザイン賞

YKKAPは、エクステリア商品シリーズ「ルシアス」で2015年度グッドデザイン賞を受賞した。「ルシアス」シリーズは、基本アイテムの「門扉、フェンス、機能ポール、車庫用ゲート」をコーディネートし、住宅のアプローチ空間や外構まわりをトータルにデザインするという発想で開発されたもの。

三協アルミ

デザイン大賞「住友林業緑化(株)福山営業所」、プランニング大賞「旭化成住宅建設(株)エクステリア事業部東京事務所」選出

三協立山株式会社・三協アルミ社(蒲原彰三社長)は、全国の販工店を対象にした「エクステリアデザインコンテスト2015」の最終審査結果を発表した。



施工事例5部門と外構デザインのプランニング部門の計6部門への約3000点の応募

の中から受賞135点を決定した。デザイン大賞には、「住友林業緑化(株)福山営業所」(福山市)、プランニング大賞は「旭化成住宅建設(株)エクステリア事業部東京事務所」(東京都文京区)が選出された。各部門ゴールドデザイン賞——◇ファサード部門:「(有)ガーデンアート昌三園」(福山市) / 「住友林業緑化(株)名古屋中央営業所」(名古屋市中区)。◇アウトドアリビング部門:「ザ・ガーデン鹿児島東開店」(鹿児島市)。◇エクステリアリフォーム部門:「TAKUMI GARDEN」(奈良市)。◇テーマ部門(コンパクト住宅):「(株)ベストホーム」。◇プレゼン部門:「住友林業緑化(株)大阪営業所」(大阪市)。

風除室「暖たす」のハンガー引戸「3枚片引き戸」業界最大の有効開口寸法

三協アルミ社は、エントランス

部で風雨や雪を遮断し断熱効果をも高める風除室「暖たす」のハンガー引戸「3枚片引き戸」をリファイン新発売した。

2009年10月発売以来、北海道や東北地区を中心に需要が増加傾向にある。今回のリファインでは、有効開口幅が業界最大のサイズ1800mmタイプの場合W1043mm、サイズ2000mmの場合W1176mmに拡大され、さらに車椅子の通行や自転車の出し入れがスムーズになった。

バリエーションは、ハンガー引戸の引違い戸(太框2枚建)・型引き戸(太框2枚建、3枚片引き戸)。レールタイプの各種引戸、ドアタイプなどを品揃えする。

ステンレス製サイクルラック「SS-1型」新発売

三協アルミ社は、ステンレス製サイクルラック「SS-1型」を新発売した。前輪を固定するタイプの自転車収納用ラック。

1台用独立タイプのために、自転車の必要数や設置スペースに自由に合わせることができる。低位式と高位式の2タイプを用意。交互の組み合わせも可能。参考価格・サイズは、低位式250×106×312mmで1万5500円、高位式550×106×312mmで2万1000円。

元旦ビューティ工業

「創業50周年記念」全国元旦代理店会・全国元旦会と合同大会開催

元旦ビューティ工業(船木元旦社長)は10月19日、東京港区のグランドプリンスホテル新高輪で、「創業50周年記念」全国元

旦代理店会・全国元旦会との合同大会を関係者約1000人出席の下に開催した。

主催者を代表して船木元旦社長は、この50年は挑戦の連続であった、1年おきに工場を建てた時期もあり、常に売上の半分を借り入れ、商社や銀行の方には心配をかけたと思うが、休む間もなく駆け上がってきた。50年間にお願いした特許は4000件以上になり、今後も変わらず新製品を開発していくが、これからの50年はここに参集の若い世代の方々に活躍してもらいたい」とあいさつした。

引き続き、共同主催者の全国元旦代理店会会長・井上定(株)井上和雄社長、全国元旦会会長・(株)ナカタ工業中田進会長が挨拶、さらに来賓として東京大学・内田祥哉名誉教授が祝辞を述べた。日鉄住金鋼板(株)の細貝清司社長が乾杯の発声したのち歓談に移り、元旦ビューティ工業(株)の船木亮亮会長が謝辞を述べて締め括られた。

文化シャッター

止水ドア「アクアード」と無線式危害防止装置「マジックセーフ」でグッドデザイン賞を受賞

文化シャッター(茂木哲哉社長)は、止水ドア「アクアード」と、無線式危害防止装置「マジックセーフ」で2015年度グッドデザイン賞を受賞した。

「アクアード」は、簡単操作で止水できる構造や緊急時の素早い開閉可能なこと。「マジックセーフ」は、業界初の自己発電装置内蔵の送信機を組み込むことで万一の動作不良を回避できること。どちらもこうした機能美が評価されたもの。

特集1:

ハイグレードなビルファサード・エントランスづくりを支えるステンレスサッシ・フロント材

最新の都市再開発ビルのファサード・エントランスを中心に採用すむ

ステンレスサッシ・フロントは、オフィスビルや大型商業施設、ホテル、医療・福祉施設、教育施設、マンションなどのファサード・エントランスづくりにおおく採用されている。建築物のグレードは、ファサードデザインとその使用材料によって決まる。例えば、文化遺産として現存する歴史的建築物には、ブロンズやアルミの鋳物、鍛鉄、ステンレスなどが使われている。一般的には設計のイメージを忠実に実現する難易度の高い製品づくりに適した材料であることと、重厚な質感を併せ持っていることが評価されてきた。

いまま重厚さや高級感を求める建築物のファサード・エントランスには、高級素材を使ったオリジナルドアや装飾金物などが採用されている。都市再開発関連の大型複合ビルファサード・エントランスには、デザイン性と耐候性を兼ね備えた素材としてステンレス建具の採用がおおい。

ステンレス素材のもつ高級感や美観性、高耐候性が評価された結果だが、さらに見逃せないのはオリジナルデザインへの設計対応力、熟練した職人技をもった技術者集団の存在だろう。量産を前提にするアルミ建具には難しいオーダー建具への物件対応力が、ステンレス建具のセールスポイントでもある。

ステンレス建具の売上高約250億円拡大につく、三和、ナブコ、テラオカ、文化の4グループで市場を牽引

ステンレスサッシ・フロント市場は、いわゆるバブル期を天井に一気に縮小し、業界再編が繰り返された。高度なステンレス加工技術をもった専門企業は大手企業グループの傘下に統合されてきた。

いまステンレスサッシ・フロント市場では、三和シャッター工業・三和タジマの「三和グループ」、ナブテスコ・ナブコシステム・ナブコドア・オリエント産業の「ナブコグループ」、寺岡オートドア・フルテック・寺岡オートドアシステムの「テラオカグループ」、文化シャッター・BX紅雲の「文化シャッター」が

大きな集団を形成する。このほかに日暮工業、菊川工業などのステンレスのプロ集団が業界の一角を支える。

公共用土木製品や住設機器を除く、建具以外のステンレス建材では、エクステリア分野の三協立山、四国化成、LIXIL、手すり分野のナカ工業、浅野金属工業、サイン・ポストの田島メタルワークなどの取り扱い企業群が控えている。

2014年度ステンレス建具市場は約250億円と推定される。首都圏をはじめ大都市圏の都市再開発関連需要に支えられて拡大した。2020年東京オリンピックまでは引き続き活況との見方がされているが、一方で最近の世界的な景気減速をみて、先行きを警戒する見方も強まりつつある。

企業グループ別にみる。業界をリードする三和グループ売上高は、三和タジマ62億円、三和シャッター工業55億円の計117億円と推定される。リーディング企業の三和タジマはステンレス以外のキャストブロンズ・アルミなどの金属製品全般を含めた売上高は83億円と、大型物件受注で抜群の強さをみせている。

三和タジマが大型プロジェクト関連のカーテンウォールのような難易度の高い物件に対応し、三和シャッター工業が主に一般ビルエントランスを中心に受注活動を進めている。

ナブコグループは約65億円と推定される。シェア50%を超える自動ドア市場での圧倒的な営業力を背景に、ビルエントランスのステンレス建具中心に受注活動を進めている。建具は受注できなくともステンレス製自動ドアシステムは、ナブコといわれるほどブランド力はつよい。

ナブコシステムは売上高46億円と業界を代表するステンレスフロントメーカーとして知られる。「エヌ・エス・メタル」「エヌ・エス・トート」のステンレス製造拠点を背景に、自動ドア+ガラス+ステンレス建具のトータル受注体制を敷く。

テラオカグループは約33億円と推定される。ビルエントランスの自動ドア+ステンレス建具の一式受注をターゲットに展開する。グループを代表するステンレス専門企業は、フルテックの100%子会社「アートテックス」。札幌・盛岡に製造拠点をおき、

北日本、東日本、首都圏のステンレス物件をカバーしている。とくに、大型プロジェクトのおおい首都圏での物件受注に精力的に取り組んでいる。

文化シャッターは約31億円と推定される。ステンレス建材の専門企業「BX紅雲」の技術力を活かして大型ビル物件の受注活動を強化している。「羽田空港国際ターミナルビル」でも採用されたステンレス中空枠「リブレイド」が、「鉄鋼ビル」の内部ドアとして採用された。

* * *

ステンレスサッシ・フロントは、オフィスビルや大型複合商業施設での採用率が高い。各社の販売傾向をみても50%~70%を占める。そのほかでは、病院・福祉・教育施設、中小店舗、マンションなどのエントランスでの採用がおおい。

ビルエントランスでは、自動ドアシステムとトータル受注されるケースが増えている。これまでは自動ドアとステンレス建具は別扱いであったが、いまでは大型プロジェクト関連ビルを除き、自動ドア+開口部製品一式受注が当たり前になっている。自動ドア企業がステンレス建具市場での影響力をつよめる大きな要因といえる。

意匠面からみると、ヘアライン仕上げがおおい。最近ではバイブレーション仕上げが増えてきている。三和タジマでは20~30%に達しつつある。鏡面仕上げやカラーステンも、それぞれ10%前後採用されている。

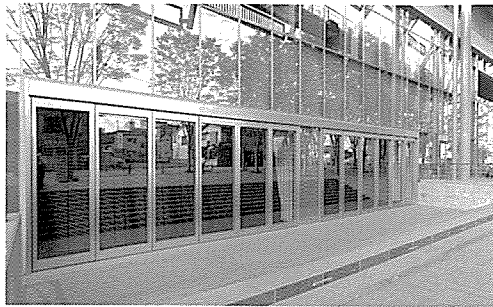
こうした中で、三和タジマは、指紋・汚れ対策に効果的な「MT Vibration」仕上げや、ステンレス黒色発色材料「ST SUPER BLACK」などのオリジナル商品を開発して、三和タジマのブランド力をさらにアップしつつある。

三和シャッター工業／三和タジマ

新表面仕上げ提案——深く美しい「STスーパーブラック」、汚れのつきにくい「MTバイブレーション」高評価

【主な商品】■新提案商品——◆ステンレス黒色発色材料「STスーパーブラック」：極薄膜による発色法で深く美しく耐久性に優れた黒を実現。高級感あふれるマンションなどのエントランス空間を創造する。表面仕上げは、ヘアライン・鏡面・バイブレーションの各種を用意。◆「MTバイブレーション」仕上げ材：指紋や水垢などの汚れがつきにくく、拭き取りやすい表面仕上げ（圧縮応力形成技術）。指紋がつきやすいエレベーターなどにメンテナンスフリー材料として提案。◆「NEWフレンドア」：風圧力を開閉のアシストパワーに活用する風の強い場所に最適なドア。最大高さ2800mm・幅900~1200mm。

三和タジマ「豊島区役所」STスライド大型施工例



◆重点商品——◆軽量止水シート「STウォータープロテクト」：止水時にドア開閉可能な建具一体型。持ち運び不要の床下収納。セット時間約3分。赤坂「サンケイビル」、東京・秋葉原「極東商会」、大阪「竹中工務店本社御堂ビル」などの施工例。

◆「STスライドシステム」：エントランス&スクリーン・ドアをフルオープンし、開放的な大空間を実現できる高機能商品。「ブリリアタワー池袋／豊島区役所」の大型施工例。

■主なステンレス製品——◆規格ステンレスフロント「ニューシティフロント」／「セレクト48」(オーダー品よりも25%低価格、納期約2週間、角だし1mm残し曲げ加工)。◆「STスリムII」(たて框見付12mm)／「STスリムIIラージ」(最大高さ3500mm、たて框見付20mm)。◆ST制震オートドア「しずか君」(制振性と安全性を両立、静かなエントランスを実現)／「スペースメイク」(自動ドア)。◆戸先折れ戸装置標準装備の回転ドア「レポフォート」(大型自動4枚扉、アルミ製扉・センターコア仕様、3サイズ用意)／「レポフォートナノ」(手動タイプ、3サイズ用意)。◆耐熱強化ガラス入り特定防火設備「ファイヤードII」(サンゴバン社製バイロスイスステンレス仕様・スチール仕様の開き戸・FIXスクリーン)／「ファイヤード」／「ファイヤードオートドア」等。

【現況】 三和グループのステンレス建材事業は、

三和シャッター工業、三和タジマを軸に、製造拠点の吉田製作所、メタルワーク関西、郵便受箱・プレート・宅配ボックスを扱う田島メタルワークなどのグループ企業が総合的に展開する。グループのステンレス製品売上高は約118億円と大台に乗せている。

「三和タジマ」のブランドイメージは、ステンレス・アルミ・ブロンズ・真鍮・チタンなどのあらゆる金属材料を扱い、金属内外装製品・金属製建具・カーテンウォール・装飾金物のオーダー製品に対応する高度な設計・加工技術力に支えられている。その中でも、歴史的な建造物を文化遺産として甦らせる「復原・修復」事業は、金属のプロとしてのノウハウと実績を積み重ねてきた三和タジマの独壇場ともいえる分野である。

業界のリーディング企業・三和タジマは、埼玉工場と名古屋工場に製造拠点を置く。受注物件の増加に対応して、埼玉工場では現在、新たな完成品倉庫の建設と生産性の強化が進められている。

最近の大型物件には、「豊島区役所・ブリリアタワー池袋」(STスライド)をはじめ、東京・丸の内「三井住友銀行本店東館」(ステンレス建具・外装)、大阪「新ダイビル」(ステンレス建具)、大阪「日本生命本店新東館」、東京・大手町「星のや東京」、東京「東京都中央卸売市場／水産棟・青果棟」など多数の施工例がある。ステンレス建具に限らず、ブロンズやアルミキャストを採用したブランドショップの外装工事など、デザイン性を重視したファサードづくりに優れた設計対応力が表れている。

三和シャッター工業は建築用規格金属製品、三和タジマは難易度の高いオーダー金属製品を中心に受注活動を展開している。三和タジマの販売傾向をみると、オフィス棟や商業棟、居住棟から成る大型複合施設、病院・福祉施設などのビル向けが70%を占める。中小店舗向けは20%、マンションエントランス向けは10%の比率。特殊用途にはゴミ処理場、清掃工場のクレーン室などの施工例もある。

新たな表面仕上げを開発・提案する。とくに、新提案「MTバイブレーション」を含むバイブレーション仕上げが30%弱と増加していることが最近の特徴。主力はヘアライン仕上げが50%強を占めるが、ステンレス黒色発色材料「STスーパーブラック」などのカラー材仕上げも10%と増加傾向にある。さら

に、鏡面仕上げが10%を占める。

寺岡オートドア

業界初の多機能トイレ用自動ドアスイッチ「MFS-1」4ヶ国音声版／多言語音声案内システム新発売

【主な商品】■新商品——◆多機能トイレ用自動ドアスイッチ「MFS-1」4ヶ国音声版／多言語音声案内システム「VN1N」「VN1S」：人に優しいデザイン性と使いやすく、分かりやすい機能性を融合した新しい形の多機能



トイレ用パネルスイッチとして採用が進められている「MFS-1」に、「音声ガイダンス」機能を追加した新タイプ。

従来タイプは、パネル部LEDの発光と音による使用可能状態・使用開始・使用中・使用終了・使用後ドア閉の動作確認を行なうことができた。新タイプは、多言語音声案内システム「VN1N」「VN1S」による「音声ガイダンス」機能が追加された。

多目的コントローラに接続された「VN1N」(台内蔵型)、「VN1S」(壁面外付けBOX型)から、日本語・英語・中国語・韓国語の「音声ガイダンス」が語間3秒間隔で流れる仕組み。トイレ未使用状態やドアの開閉、緊急時など対応がアナウンスされる。すでに「北京国際空港」に採用されているが、音声ガイダンスは中国語・英語・日本語・韓国語の順になる。

■重点商品——◆「Fire Door 耐熱ガラス入りテラオカ特定防火設備」：業界屈指の商品バリエーションをセールスポイントに、自動ドア・扉・ステンレスフレームの開口部一式受注活動を展開、施工実績を積みあげている。特定防火設備1.5mm厚SUS304仕様・1.6mm厚スチール仕様。◇自動ドア防火戸：SUS・透明パイロクリアの片引き2機種／両引き1機種。SUS・透明ピランの片引き1機種／両引き1機種。St・透明ピランの片引き1機種

／両引き1機種。◇手動防火戸：SUS・透明パイロクリアの片引き1機種／両開き1機種。SUS・透明ピランの片引き1機種／両開き1機種。◇FIX：SUS・透明パイロクリア1機種／透明ピラン1機種。◆「Fire Door テラオカ防火設備」：耐熱ガラス入り開き戸（片開き・親子開き・寮開き）／耐熱ガラス入り鋼製引き自動ドア等。

◆ステンレス枠扉「スリムセナージ・ドア」シリーズ（省エネ・空調効率アップ、防音・気密・防犯性などのニーズに対応するステンレス製自動ドアシステム）：「I型」（縦フレーム見付25mm・A-4等級の高気密タイプ）／「II型」（見付25mmのスリムなフレームデザイン）／「III型」（パールガード装着の防犯仕様）／「IV型」（手や指が挟まれにくい安全仕様）／「V型」（高さ3m超の大開口に対応、フレーム見付20mm）。

■関連商品——◆ハンズフリー入退室管理システム「テラオカすいすいスルーS&M」：タグを携帯し、ドアに近づくだけで自動認証する入退室管理システム。「すいすいスルーS」は、ハンズフリーアクセスとタッチアクセスの2つの認証モード。「すいすいスルーM」は、ハンズフリーモードと、センサーに手をかざすセンサーモード、アンテナの認証範囲内でタグボタンを押すボタンモードの3つの認証モードを用意。病院や倉庫、工場向けにセキュリティ機能の向上と合わせて提案活動を展開する。

【現況】自動ドア「テラオカ」グループの寺岡オートドア、フルテック、寺岡オートドアシステムを中心に、オフィス・商業施設、病院・福祉施設のステンレスサッシ・フロント開口部製品のトータル受注活動を展開する。札幌、盛岡、新潟、九州と全国20箇所以上の協力工場によるステンレスサッシ・フロント製造ネットワークを構築している。

最近の首都圏を中心にした旺盛な需要に応えてステンレスサッシ・フロントも好調さを堅持している。用途別には、ビル・大型商業施設向け50%を主要なターゲットに展開する。病院・福祉・学校の一般ビル向けも20%を占めている。これに中小店舗向け10%、マンション向け10%がつづく。

「テラオカ自動ドア」のブランド力を活かした大型ビル物件における開口部製品一式受注体制が大きな強みといえる。とくに、「Fire Door 耐熱ガラス入りテラオカ特定防火設備」は、大型ビルや病院な

どのトータル受注の実現に大きく貢献している。

商品傾向をみると、ヘヤライン仕上げ85%と圧倒的におおい。これにパイブレーション仕上げ8%、鏡面仕上げ5%、カラーステン2%がつづいている。

今後、首都圏を中心にした都市再開発プロジェクト関連物件、東京オリンピックを見据えたホテル建設、さらに地方圏の病院、老健施設などのニーズへの対応を強めていく。2015年は新たに佐賀営業所を新設するなど、営業・サービスネットワークの拡充に力を注いでいる。

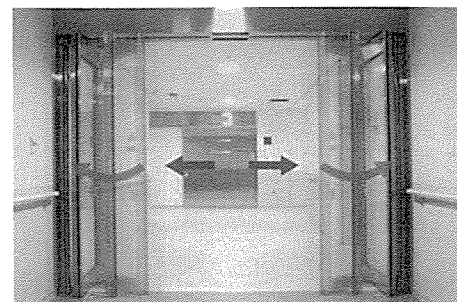
ナブテスコ

引き戸とフルオープンを手軽に切り替えられる2WAY自動ドア「スライドグライド」、病院向けに提案強化

【主なステンレス製品群】■重点商品——◆「スライドグライド」（2014年3月発売）：業界初の引き戸とフルオープンを手軽に切り替え、快適な通行を実現する2WAYドア。使用方法は、①少人数での通行の場合、中央部のドア（引き戸）をスライドして、必要十分な開口を確保する。②大きなものを運ぶ場合、両サイドのドアをグライドしフルオープン状態にして大きな開口を実現する（最大有効開口幅2390mm）。とくに、病院、医療・介護施設などの大型ベッド等の搬送時にもスムーズな通行を実現できることが特長。現在、病院をターゲットにした設計折込み活動に力を注いでいる。

■バリエーション——◆「インテリジェントecoドアシステム」（2012年度キッズデザイン賞受賞）：10月4日放送のTBS系列・TV番組「この差って何ですか？」でも紹介された通行者の動きを読み取ることができる賢い自動ドアシステム。通行者が自動ドア前を横切るだけか入室するかを判断して、不要なドア開閉を減らすことできる。タッチスイッチを使用しない意匠性に優れたエントランスを実現する。

◆「ロスカドアシリーズ」：「Ecoロスカ」（日射熱約39%カット・紫外線約99%カットしながら、フロートガラスと同等の視認性をもつ遮熱強化合わせガラスを採用）／2011年度キッズデザイン賞「フラットロスカ」／「ロスカドアII型」「ロスカドアIII型」「ロスカドアFIX」等。◆「気密ドア（SOA）」：新型感染症等の隔離病室などに対応する病院向け高气密ドア。◆「フリーオープンドア」：自動ドアのレイ



ナブテスコ「引き戸とフルオープン機能を兼備する業界初の自動ドア「スライドグライド」

アウトを自由に変えて、通行量に応じた最適な運用スタイルを選択できるエコ・省エネ対応自動ドアシステム。◆「パニックフリードア」：2014年度キッズデザイン賞。地震対応建具構造で手動式ブ레이크アウト機構。震度5相当以上を感知しドアが開く構造。

■「ナブコ防火ドア」特定防火設備：◇自動引き戸——SUS鋼製1.5m厚・耐熱強化ガラス8mm厚の引分け4種・片引き6種／鋼製1.6mm厚・耐熱強化ガラス8mm厚の引分け4種・片引き6種／SUS鋼製1.5mm厚・耐熱強化ガラス5mm・8mm厚の引分け4種・片引き4種。◇手動引き戸——SUS鋼製1.5m厚・耐熱強化ガラス8mm厚の両開き3種・片開き1種。◇FIX窓——SUS鋼製1.5m厚・耐熱強化ガラス8mm厚の単窓・2連窓・3連窓・4連窓・5連窓／SUS鋼製1.5m厚・耐熱強化ガラス8mm厚の単窓。■「ナブコ防火ドア」防火設備：◇自動引き戸——SUS鋼製・鋼製、耐熱強化・耐熱板ガラス6～12mm厚の引分け2種・片引き2種／SUS鋼製・鋼製、耐熱強化・耐熱板ガラス6～12mm厚の両開き6種・片開き6種・親子開き6種／SUS鋼製・鋼製、耐熱強化・耐熱板ガラス6～12mm厚の単窓4種・2連窓4種・3連窓4種。

■関連商品——◆「ミライサーチ」（2015年2月発売）：業界最高性能の自動ドアセンサー。独立設定が可能な72スポット高密度エリアによって、従来型よりも正確な検知エリアを実現するほか、雪や雨、虫などによる誤作動を低減する。そのほかにも、LED表示による交換時期の表示、反対側からドアの隙間に紙等を差し込んだ場合にも、ドアを開かないように検知するセキュリティ対策、フルカラーLED表示などの新たな機能を搭載した。従来通り、ecoモード、異型ドア対応機能、非接触タッチセ

ンサー機能も搭載されている。

【現況】自動ドアのトップブランド「ナブコ自動ドア」は、製造：ナブテスコ（株）住環境カンパニー、販売：ナブテスコ、ナブコドア、オリエント産業の強力なネットワークを敷き、日本国内市場を席捲する。さらに、米国、中国、欧州に製造・販売拠点を構築し、世界ナンバーワンブランドへの道を追求している。

オフィスビル・複合商業施設、医療・福祉施設、教育施設などの大型ビル物件を主力に、自動ドア＋開口部製品のトータル受注活動を展開する。とくに、都市再開発関連の大型ビルファサード・エントランス工事の必須アイテムであるステンレス製品の開発とバリエーションの強化に重点をおいている。商品開発は、建物のエコ・省エネ対策と安心・安全な通行を両立させた高機能・高意匠の自動ドアシステムを中心に展開されている。

新商品「スライドグライド」は、通常時スライドドア、大開口幅が必要な時にフルオープンする使い方で、病院・医療施設をターゲットに開発された。建物の用途や使用状況におうじた新たな自動ドアシステムの開発で業界をリードしている。大型ビルエントランスの高機能・高意匠化を実現する「自動ドアシステム＋開口部製品」の商品開発力・提案力が、トップブランド「ナブコ」を支えている。

ナブコシステム

新商品の自動ドア・防水装置完全一体型「FD-one」を拡販、完全フラットな「N-Flatドア」高評価

【主な商品】■新商品——◆自動ドア・防水装置完全一体型「FD-one」：自動ドアからの浸水を防衛する防水シート式防水装置。防水装置がステンレス製自動ドア枠内（サイドレール）に組み込まれているため、補強材の組み立てや工具が不要で、いざという時に簡単に設置できることが特長。また床ケーシングは、サッシ開口部に納まり、すっきりとした床仕上げが可能。

上部横1本・中柱1本・レールカバーのみのシンプルな構造で、建具開口幅2400mm、止水高さ300～1000mmを実現した。防水装置は日本ピットとの共同開発で、防水シートは穴があいても裂けない特殊合成ゴムシート採用。東京「フロントプレイ

ス御成門」、埼玉「太陽生命越谷」などのビルエントランスに採用されている。

◆「NStyleドア」(新型ハートビルレー
ルを採用した安全+省エネ+デザインを兼備する究
極の扉) —◇「NFlatドア」(F型):新開
発の特殊複層ガラスユニットの採用により内外ガ
ラス面と縦フレームのフラット化を実現したもの。
ドアガラスと縦フレームに段差がなく、内部側に防
護柵や防護扉がある場合でも指挟み防止のための
引き残しが不要になる安全性を追求した完全フラ
ットecoドア。◇「ハイグランドドア」(H型):ス
リムフレームで最大ドア高さ3500mmを実現し
た高意匠な大型ドア。扉厚50mmの採用で一般
枠ドアとの互換性に優れ、取り替え工事に対応し
ている。また四方フレームにオリジナルシールを
施し、隙間風・埃・騒音を防ぐ工夫を凝らして
いる。ヘヤライン、鏡面、バイブレーションの
各仕上げに対応。

■重点商品—◆ナブコ無線認証システム「らく
2パス」:1つのカギ「らく2パス」で、マン
ションやオフィス、各種施設などのセキュリティ
をシンプルに管理できることが特長。セキュリ
ティ自動ドアや駐車場ゲート、立体駐車場用
自動ドア、工場出入口ドア、オートロック
ドア等と連動できる。とくに、マンション共
用部では、エントランスドアのハンズフリー
解錠を実現すると共に、インターホン・宅配
ボックス・エレベーター呼び出し・駐
車場ドア・駐車場ゲート等に連動し、ハン
ズフリー化を実現するセキュリティ認証シ
ステムとして定着しつつある。

◆新ゲートシステム「パスマース」:二重
自動扉構造により、外気の注水量を抑え、
建物の空調効率を向上させることができ
るほか、エレベーターのドラフト現象抑
止、不正侵入防止などの機能を備える
新エントランスシステム。「大型自動回
転ドア」と併行して提案活動を進めて
いる。

■主力商品—◆「NSステンレス」:
エントランス/フロントスクリーン/カー
テンウォール/エクステリア/インテリア/
アートなど、建物ファサード・エント
ランス向けのステンレス製建具を主力
商品として展開する。

【現況】 オフィスビルや大型商業複
合ビル、医療・福祉施設、マンション
などのエントランスを中心とした開口
部製品のトータル受注体制を敷く
ステンレスサッシ・フロント分野の
リーディングカンパニー



ナブコシステム:簡単に設置できる自動ドア
・防水装置完全一体型「FD-one」 拡販

の1社。北海道「エヌ・エス・メタル」、宮城「エヌ
・エス・トート」のグループ企業、秋田「リ
ンタツ工業」、富山「ヤマシタ」の協力企
業の製造拠点は、ステンレス製品加工に
精通した質の高いネットワークと評価さ
れている。

新商品の自動ドア・防水装置完全一体
型「FD-one」は、最近のゲリラ豪雨に
ともなう都市型浸水から建物エントラン
ス部をまもる防水装置。シート式防水装
置が自動ドア枠内や床下に収められて、
通常時には意匠性の高い自動ドアエン
トランスシステムを構築できることがお
おきな特長。

こうした建物エントランスの安全・防
犯・セキュリティなどの機能性を高め
るステンレス建具工事を中心に受注活
動を展開する。最近の大型施工物件は、
東京・飯田橋西口地区再開発の「飯
田橋グランブルーム」(オフィス・住
居棟エントランス)、東京丸の内「三
井住友銀行本店東館」(自動ドア300
台超)、千葉「京葉銀行千葉ミナトビ
ル」、千葉「千葉大学外来診療棟」、
栃木「佐野市庁舎」など、数多くの
ステンレス製エントランス工事を
行なっている。また、大型自動回
転ドアの施工例はなかったが、
新ゲートシステム「パスマース」は、
「アステラス製薬つくば研究所」に
採用された。

ステンレス工事の販売傾向をみると、
用途別にはオフィスビル・大型商業複
合ビル・店舗向け70%、マンション
向け20%、病院・福祉施設・学校
向け10%の比率。ビルエントランス
の自動ドア・ステンレス建具・ガラ
スの開口部一式受注体制は変わらない。
表面仕上げは、ヘヤライン仕上げ50%
、バイブレーション仕上げ45%と、
バイブレーション仕上げの増加が目
立っている。鏡面仕上げ・カラー
ステンは5%にとどまる。

フルテック/アートテックス

全自動フルオープンドア「フルード」 7月1日発売開始、横幅の大きいもの の不定期な通行にも全自動で対応

【新商品】■全自動フルオープンドア「フルード」(7
月1日発売開始) —従来型フルオープン
ドアは手動で行っていたフルオープン動作
も含めて全自動化した新しい自動ドア。
通常は一般的なスライド自動ドアとして
開閉、必要な時のみ可動FIX部が全自
動で開き、大開口のフルオープン状態に
なる機構。人のみの一般的な通行とス
トレッチャーなど横幅の大きいものの不
定期通行にも全自動で対応できる点が
従来型フルオープンドアとの違い。最
大有効開口幅2500~3400mm。

特長は、①壁面にタクトスイッチや手
をかざす非接触スイッチを設置しフル
オープンに対応。②セキュリティタグ
やカードキーなどを携帯した人がリー
ダーにかざすことでフルオープンに
できる。③スライド開閉を含めて入
室管理も可能。④火災警報などの非
常信号を受け、フルオープン状態に
することも可能 —など、自動ドア
としての利用範囲を大幅に拡大した。

【現況】 フルテックは7月1日、寺
岡ファシリティーズから現社名に
変更し、自動ドア、ステンレスサ
ッシ、駐輪場システム、環境機器を
トータルに展開する。

ステンレスサッシ事業は、「テラ
オカ」自動ドアと共に北海道、東
北、関東圏(首都圏)の東日本・
北日本地域をカバーしている。製
造は、100%出資子会社の「ア
ートテックス」札幌工場・盛岡工
場を軸に、協力工場の福島・千
歳金属、埼玉・トップ工業などの
ネットワークを構築する。

来年創立25年を迎える「アート
テックス」は、高度な技術と豊富
なノウハウに裏打ちされた高品質
・コストダウン・短納期を追求す
る一貫製造ラインを構築し、ビ
ルエントランス向けの自動ドア+
建具の開口部製品を製作している。

用途別には、ビル・大規模商業
施設向け30%、中小店舗向け20%
、病院・福祉施設・学校等20%
、マンション向け30%と、大小
を問わずあらゆるステンレス建
具のオーダーに対応している。現
在、施工中の物件には、「新宿駅
新南口ビル」「仙台駅

東口ビル」「札幌トヨペット本
社ビル」などの大型ビル物件もあ
る。

販売傾向をみると、ヘヤライン
仕上げ60%を主力に、鏡面仕
上げ15%、塗装仕上げ15%、
バイブレーション仕上げ10%の
比率。鏡面仕上げ・塗装仕上げ
が比較的好まれることが特長。

文化シャッター

ガラスフロント用ステンレス中空 枠「リブレイド」のシャープを活かし 高意匠のステンレス内部扉を施工

【主な商品】■「ステンレス建具」—◆「
プロトフレーム」:設計自由度の
高いステンレス建具。オリジナル
対応例に、僅か12mm 縦枠の
スタイリッシュでシャープなデザ
インを実現する「細枠強化硝子
扉」、ハートビル法に適合した
気密性・安全性・防犯性を高め
た「エコフィット」、フルオープ
ンする自動ドア「非常時全開シ
ステム」、建物のグレードを高
める「R付フロント」などを
用意。

◆「リブレイド」:ガラスフ
ロント用ステンレス中空枠。床・
天井・壁に見えかがり6mmとい
うシャープな意匠性を実現する。
FB枠の重量比約40%と軽
量のロール成形材。透過性と
意匠性に優れた開放的なフ
ロントデザインが演出できる。
FIX枠と開きドア・自動ドアの
品揃え。大開口エントランス
(高さ6000mm)に対応。天井
まで1枚物の大型扉を設定
(開き戸DH3300mm・引戸DH
3500mmまで)。

◆「ユニフレーム」:高品質
・低価格・短納期を実現した
ステンレス規格建具。開き戸
(片開き・両開き・親子開き/
ランマ有・無)、引戸(片引き
・引分け)、排煙窓、FIX枠
などの構成。◆「ステンレス
製耐熱強化ガラス入り特定防
火設備/スチール製特定防火
設備」:◇はめ殺窓/大型は
め殺窓・はめ殺し窓ワイド。
◇開き戸の片開き・両開き・
ランマFIX付き両開き。◇引
戸の片引き・両引き・広開口
片引戸。◆「耐熱ガラス入り
スチール・ステンレス製防火
設備」:はめ殺(最大W2400
・H2400)、開き戸(片開き
2機種・両開き4機種)、引
戸(片引き・引分け)。

【現況】 同社のビル営業部門
と名古屋・BX紅雲の連携の下、
ステンレス建具事業を進める。
設計自由度の高いオーダー
ステンレスフロント「プロト
フレーム」を主力商品に展開し、
大型ステンレス建具

工事への提案活動を強めている。

オリジナル商品のステンレス中空枠「リブレイド」は、見えかがり6mmというシャープな意匠性をセールスポイントに「羽田空港国際ターミナルビル」に眺望性にすぐれたフロント材として採用された。このデザイン性を活かして、新「鉄鋼ビル」のステンレス内部扉に採用されるなど徐々に浸透している。

用途別には、オフィスや大型商業施設向け40%、マンション向け30%、病院・福祉施設・学校向け25%、中小店舗向け5%と、ビル物件中心の展開。表面仕上げには、ヘヤライン仕上げ・バイブレーション仕上げ・鏡面仕上げを用意する。

四国化成工業

ステンレスの高級感や重厚感、美観性・耐久性を活かし、大型引戸・歩行補助手すり・車止めに商品を展開

【現況】 土木製品の高意匠化を進める景観エクステリアのトップ企業。車両用防護柵をはじめ、大型門扉・フェンス、歩道用防護柵・転落防止柵、通路用シェルター、駐輪場、歩行補助手すりなどの土木製品は、これまで安全性・強度面からスチール製品が採用されてきた。そうした中でも、美観性・

耐久性を重視する土木製品には、ステンレス製品が用いられてきた。

こうした中で四国化成工業は、パブリックエクステリア製品の高デザイン化を、アルミ製建築基準法適合品を主体に展開しており、以前よりもステンレス製エクステリア製品のバリエーションを少なくしている。とくに、主力商品である通路用シェルター「アーチウェイ」シリーズ、「サイクルポート」シリーズのアルミ製品への転換を一気に進めた。

いまステンレス製品は、大型引戸の「スタックラインS1型」(フラットレール採用。コンパクト収納できる複連式)、「ユニットラインS1型」(引戸と子扉を一体化した台車式)、「スクーターラインS1型」(ノンレール先頭台車式)の各シリーズ。また、車止め「レコポールS」には同一デザインの上下式・取り外し式・固定式のDシリーズなど4タイプを揃える。さらに、歩行補助手すり「セイフティビーム」シリーズには、標準タイプ・防護柵タイプなどを品揃えする。いずれのステンレス製品も、高級感や重厚さ、美観性、耐久性を活かした景観エクステリアであるが、最近ではアルミ製品を補完する形で展開されている。

特集 2:

高意匠・高耐候・高機能の住宅長寿命化対応商品を拡大する窯業系外装材／住宅外装リフォーム市場での需要拡大をねらう金属サイディング

— 窯業系外装材 —

市場の縮小で商品開発・営業の総合力に勝る上位メーカーにシェア集中

業界団体の「日本窯業外装材協会」会員企業は、旭トステム外装(AT WALL)、倉敷紡績(クランセリート)、ケイミュー(セラディール、エクセレージ、ネオロック)、神島化学工業(神島防火サイディング、KCセットモールド、KC)、東レACE(完璧、トレストージ、トレパーツ)、ニチハ(モエンエクセラード、モエンアート、モエンサイディング)、フクビ化学工業(フ

クビセラミックスサイディング)の7社。昨年の9社から2社減少した。

2014年販売出荷量は1億㎡の大体はキープしたが、1億0545万9000㎡と前年比1.5%減少した。昨年5月以降、駆け込み需要反動の影響が長引いている。今年上半年(1—6月)も4889万8000㎡、前年同期比9.7%減少で推移した。

今後とも市場の縮小が予想されており、上位企業と下位企業の格差がいちだんと大きくなることは避けられそうにない。窯業系外装材は装置産業でもあり、一定のシェアを確保しないと採算ラインをキープできない。また、デリバリーを考えると、現地に

出来る限り近いところに生産拠点を置いていることが有利な材料になる。

全国を的確にカバーする製造拠点の存在が営業面でも優位に立てる条件のひとつといわれる。さらに、住宅スタイルの変化に対応した豊富なバリエーションの商品構成力が求められる。こうした新商品開発力は、企業の底力が試されるもので総合力をもつ企業でなければ難しい。その意味でも上位企業にシェアが集中していくことになりそうだ。

2014年販売出荷量前年比1.5%減、今上半期9.7%減と低迷、上位3社の合計シェア95%と拡大傾向

いま窯業系外装材市場は、ニチハ、ケイミュー、旭トステム外装の上位3社を軸に形成されている。企業別にみると、業界トップのニチハは約4950万㎡、シェア46.9%と推定される。昨年新発売した「モエンエクセラードFu-ge」シリーズを重点商品に営業展開する。「Fu-ge」は、シーリングレス工法と高耐候塗装「プラチナコート」の採用でメンテナンスコストの削減、住宅の長寿命化を実現できることが大きなセールスポイント。「Fu-ge」(プラチナコート10年保証) + 「プラチナシール」(15年保証) または「ドライジョイント工法」の採用で、「変色・褪色15年保証」に対応する。

ケイミューは約4018万㎡、シェア38.1%と推定される。直近の販売実績ではシェア40%を超えており、市場が縮小するなかでも着実にシェアをアップしている。「光セラ」「親水セラ」などのハイグレードコーティング商品をセールスポイントに展開する。「スーパーKMEWシール」とのセット使用で「色15年保証」を実施している。「光セラ」は販売全体の5%程度だが、「親水セラ」は約35%に達する。こうした高付加価値商品の販売拡大とシェアアップを同時に実現することを狙っている。

旭トステム外装は約1100万㎡、シェア10.4%と推定される。旭硝子のフッ素樹脂「ルミフロン」を採用した塗膜15年保証「セルフフッ素コート」と、塗膜10年保証「セルクリンコート」をセールスポイントにした展開。「セルフフッ素コート」は、最上位機種「AT・WALL ガーディナル」と「AT・WALL15」に採用されているが、販売全体の約20%を占める。こうした高付加価値商品分野での

シェアアップに力を注いでいる。

高耐候塗装の塗膜保証品は、新築時の美しさを長期間維持することでメンテナンスコストを削減し、住宅を長寿命化させる。最近のデザイン競争は、人気の木目調外壁材を中心に展開された。独自の塗装技術を駆使して、天然木の質感を忠実に再現した高意匠商品が生み出されている。自社開発の塗装技術は、今後のデザイン競争の行方を左右する大きなポイントになりつつある。

— 金属サイディング —

2014年度出荷量1426万1884㎡、前年度比14.2%減少、西日本地区の住宅外装リフォーム需要を掘起す

業界団体の「日本金属サイディング工業会」は、アイジー工業、旭トステム外装、ケイミュー、ニチハ、東邦シートフレーム、日新総合建材、淀川製鋼所、YKK APの8社で構成する。同工業会は、東日本地区に比べて知名度の低い西日本地区での需要掘りおこしに重点をおいた展開をつづけている。

2014年度出荷量は1426万1884㎡と、前年度比14.2%減少した。新設住宅着工数の減少、消費税増税の影響をまともに受けたようだ。とくに前年度の大幅な需要増を支えたりフォーム市場の低迷が大きなマイナス要因となった。

メーカー別にみると、アイジー工業が約512万㎡、シェア35.9%と推定される。金属サイディングの大ヒット商品「ガルスパンNEO-Jフッ素」「ガルスパンSEiフッ素」のスパンシリーズを主力商品に業界をリードする。アイジー工業は、他社に比べて新築向けや非住宅向けの販売比率が高いことが特徴といえる。商品的に遮熱効果をプラスしたフッ素樹脂塗装を採用した長寿命住宅対応商品の拡大に重点を置いている。

ニチハは約290万㎡、シェア20.3%と推定される。フルカラーインクジェット塗装による自然な風合いに高耐候コーティングとマイクロガードを付加した高機能外壁材「iシリーズ」の拡販に取り組んでいる。新築住宅向けの窯業系外装材を用意していることもあって、金属サイディングはリフォーム需要を軸に展開する。

旭トステム外装は約 204 万㎡、シェア 14.3%と推定される。「Dan サイディング」深絞りシリーズのバリエーションを強化している。金属サイディングでは業界初の塗膜保証 15 年「セルフ素コート品」を投入するなど、スチールサイディングのグレードアップに取り組んでいる。

ケイミューは約 146 万㎡、シェア 10.2%と推定される。「デザインシリーズ」「シンプルシリーズ」の中級品を主力商品に展開する。新築とリフォームの販売比率はほぼ半々と、業界平均よりも新築への依存度は高い。窯業系外壁材と同様に高意匠商品の開発に力を注ぎ、商品バリエーションの強化をすすめている。

上位メーカーにつづいて東邦シートフレーム、日新総合建材、YKKAP、淀川製鋼所が、独自性を生かした販売を展開している。その中でもYKKAPは、一部を除き販売を終了したアルミサイディングに特化している。戸建住宅向けのリフォーム商品のアイテムとして展開している。

* * *

商品的には、スパン系サイディングが注目されている。スパン系サイディングは、シンプルモダンスタイルの住宅にマッチするデザイン性をセールスポイントに新たな需要を創造した。その販売割合は、パイオニアのアイジー工業で販売全体の約 30%を占める。戸建住宅だけではなく、非住宅分野に新たな需要を創出したことがおおい。

金属サイディングの売れ筋商品は、様々な住宅スタイルにマッチする汎用性に優れたデザインを主力に展開される。住宅外装リフォームの主力アイテムとして、窯業系外装材と同様に天然石や天然木の質感を表現したストーン柄や木目柄を中心にバリエーション化が進められている。

アイジー工業

人気の「シンプルモダン」シリーズにフラットデザインで美しい建物外壁を実現「ガルブライトJフッ素」発売

【新商品】■外壁材「アイジーサイディング」——◆「ガルブライトJフッ素」：4月1日発売、シンプルモダンシリーズ。硬質プラスチックフォームを芯材とする住宅向け金属サイディングにおいて業界初のフラットデザインを採用。金属の質感を強調したプ

レーンな壁面仕上げで、建物の美しさを金属らしくストレートに表現する。遮熱性フッ素樹脂塗装を採用した塗膜変褪色 10 年保証品。S 造防火対応の準不燃材料。F ミストアイボリー・F ネオホワイトの 2 色。◇「ガルステージZERO-J フッ素クリアライン」(全 5 色) / 「ガルステージZERO-J フッ素シャインストライプ」(全 4 色) : 「ガルステージZERO-J」の後継商品として発売。

◆「NF-ファブリックライン」：3月15日発売、ナチュラルシリーズ。多彩なエンボスパターンと豊富な塗装の種類によるコーディネートしやすさをコンセプトにした新柄。縦・横方向の繊細なラインにより、手織りの布地のようなナチュラルで上質な風合いを追求。使用方向によって見せる表情がおおきく変わることや、製品本体の継ぎ目を目立たせない仕上げが特長。全 4 色、遮熱性フッ素樹脂塗装鋼板を採用した塗膜変褪色 10 年保証品。◇ナチュラルシリーズの「NF-アクアウェーブ」(全 3 色) / 「NF-ブレンダスタ」(全 6 色) / 「NF-ブルーユーiモード1」柄ムービングストーン。

【現況】デザイン性・機能性に優れた新商品開発を通じて業界をリードする金属サイディングのトップメーカー。金属サイディングに新たな歴史を刻んだといわれる「ガルスパン」シリーズは、メタルテクスチャーのスタンダード商品に成長させた。

いまま不動の人気商品「ガルスパンNEO-J フッ素」、シャープでエッジの効いた「ガルスパンSEi フッ素」のガルスパンシリーズは、販売全体の約 30%を占めている。これらシンプルモダンシリーズは、新商品を含めてすべて遮熱効果をプラスしたフッ素樹脂塗装を採用した、塗膜変褪色 10 年保証品。市場の要求する「メンテナンスのさらなる低減化」に対応していることが特長。

アイジーは、外壁材の「シンプルモダンシリーズ」、「ナチュラルシリーズ」、「ベーシックシリーズ」、木製「モダンウッド」、「アイジーヴァンド」の各シリーズと、屋根材「アイジールーフ」を展開する。

主力商品の「アイジーサイディング」は、住宅向け 80%、非住宅向け 20%と、非住宅分野での需要を獲得していることが特長。また、新築向けとリフォーム向けの販売比率は 65 対 35 と、新築分野を中心に浸透している。遮熱製フッ素樹脂鋼板を採用した高性能・高耐久性・高デザインの金属サイ

ディングで、全国規模での販路拡大をめざしている。

旭トステム外装

「セルクリンコート品」の価格に据え置かれた塗膜 15 年保証「セルフ素コート」の新商品「AT WALL PLUS」発売

【新商品】■窯業系外装材——◆「AT WALL PLUS シリーズ」：高性能・高品質・高コストパフォーマンスを実現した新シリーズ。「AT WALL ガーディナル」や「AT WALL15 Y」に採用されている「セルフ素コート」(塗膜 15 年保証) の販売比率を高めて主力商品に育成する方針。

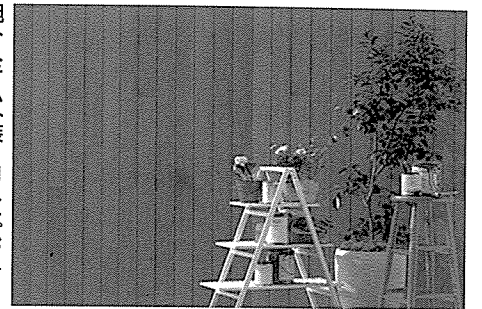
特長は、セルフクリーニング機能と防藻防カビ機能をあわせもった「セルフ素コート・PLUS」を採用。業界最長となる「塗膜 15 年保証」(超耐候性塗料用フッ素樹脂・ルミフロンをベースに紫外線吸収剤や光酸化反応防止剤などを配合し優れた耐候性を実現)。価格は従来の「セルクリンコート品」(塗膜 10 年保証、アクリルシリコン塗装) から据え置いている。

10 月新発売「ラスティウッドP」：最近のナチュラルモダンスタイルで人気の木目柄に対応する商品。本物の古木から型取りした繊細な木肌、板張りに見かける厚みの不揃い感を再現した全 8 色。柄パターン 2 種・塗装パターン 6 種の設定。11 月新発売「トラヴィスP」「ステックボーダーP」とバリエーションを強化する。

◆「AT WALL ガーディナル」：三辺合じゃくり加工+専用ジョイント部材「カンシキくん」で新シーリングレス工法を実現。「18VZ シリーズ」に新柄「リエスタVZ」を追加。凹凸のある大理石とフラットな大理石を組み合わせた石積柄。ガーディナルシリーズは 22 柄 69 品種に拡充された。◆AT WALL15Y シリーズ「ソナートSF」(セルフ素コート品) / AT WALL15X シリーズ「ソナートSX」(セルクリンコート品) : 天然石が風化した味わいを再現。◆AT WALL15YF シリーズ「リプレ SF」(セルフ素コート品) / AT WALL15XF シリーズ「リプレ SX」(セルクリンコート品) : 風に吹かれて水面が波立ち、揺れているようなデザイン。

■金属外装材「Dan サイディング」——◆スチール深絞りシリーズ・新柄「スレンダーライン」：ピースの高低差や表面の石肌が陰影に深みを与える高い意

旭トステム外装「コストパフォーマンスに優れた塗膜15年保証」AT WALL PLUS」新発売



匠性が特徴の表情豊かな細石積柄。隠し目地の採用で継ぎ目が点も特徴。2月の全国発売以来、大好評で「スパンサイディング」にならぶ主力商品に成長しつつある。

バリエーションは、「iD 塗装品」に「スレンダーラインSF」(セルフ素コート・全 6 色) と「スレンダーラインSX」(セルクリンコート・全 6 色) の 2 商品。「単色ビーズ塗装品」に「スレンダーラインSN (セルクリンコート・ライト、全「4 色) と「スレンダーライン」(一般品、全 4 色) の 2 商品。

【現況】LIXILグループの中核企業として、窯業外装材「AT WALL」(製造：鹿島工場)、金属サイディング「Dan サイディング」(製造：一関工場) を主力商品にトータルに住宅外装材事業を展開する。

最近では耐震補強壁工法「壁王」と透過型耐力壁「パンチくん」を組み合わせた「AT 耐震改修システム工法」で、「ジャパン・レジリエンス・アワード (強靱化大賞) 2015」優良賞を受賞するなど、新しい形のリフォーム提案を進めている。

褪せしにくい・劣化しにくい・汚れにくい「きれいな壁」を実現する、超耐候性塗料用フッ素樹脂「ルミフロン」を使用し、セルフクリーニング効果、防藻・防カビ機能をもつ「セルフ素コート品」(塗膜 15 年保証)、「セルクリンコート品」(塗膜 10 年保証) の拡大に重点を置いている。

「セルフ素コート品」の「AT WALL ガーディナル」と「AT WALL15Y / 15YF」に加えて、価格を「セルクリンコート品」並みに据え置かれた高コストパフォーマンスの「セルフ素コート品」として、新たに「AT WALL PLUS シリーズ」(人気の木目柄とストーン柄) を開発、全国発売した。依然として販売全体の半数以上を占める普及品から、「セルフ素コート」や「セルクリンコート」を採用した高性能・高付加価値商品への転換が促進

される。

一方、金属サイディングでも、高機能・高意匠商品の拡大が図られている。深絞りシリーズの新柄「スレンダーライン」は、天然素材の風合いをリアルに再現するiD塗装品と単色ビーズ塗装品を発売した。最大柄深さ5mmの超深絞りシリーズ、深絞りシリーズのiD塗装品には「セルクリンコート」が採用されてきたが、「セルフ素コート」で更なる高機能・高耐候性が実現される。

もうひとつの主力商品であるニュースタンダードシリーズのSPAN系商品も依然、好調さを維持する。「Danサイディング」シリーズは、およそ7割が戸建住宅の外壁リフォーム向けに採用されている。また、アルミ製も主に沿岸部の需要に対応するために取り扱っている。

元旦ビューティ工業

斬新で美しい菱形意匠の屋根・壁兼用材「元旦くろす50」新発売、既存の住宅外観意匠の一新をめざす

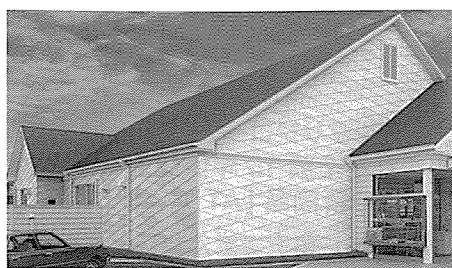
【現況】■外装材——◆屋根・壁兼用材「元旦くろす50」：建築デザインの世界を広げる斬新で美しい菱形意匠を採用した外装材として新開発された。屋根や壁、パラペットなどの外装材として横にも縦にも施工できるいままでにない最先端のデザイン性をセールスポイントに、オリジナル性を重視する店舗や幼稚園、戸建住宅などのユーザー向けに提案活動を進めている。

「元旦くろす50」の美しさは、精度の高いプレス成形加工技術と、従来の菱葺き施工よりも作業効率を20～30%アップし、美しく正確に施工できる独自の工法によって支えられている。新築にもリフォームにも対応できる。

製品サイズは、横置き仕様(ヨコ910・980mm×タテ232・252mm)、縦置き仕様(タテ670・977mm×ヨコ203・280mm)。材質は、カラーアルミ(板厚0.5mm)、カラーステンレス(0.4～0.5mm)、カラーガルバリウム鋼板(0.35～0.5mm)を品揃え。チタンや銅板、溶融亜鉛メッキステンレス等にも対応する。オプションで更なる高級感を演出するエンボス加工にも応じている。

◆元旦化粧バリヤ「元張Ⅱ」：断熱材の厚みが自由に選べ、新築・改修・軒天などに簡単施工でき

元旦くろす50」新発売
な菱形意匠の屋根・壁兼用材



る外装パネル。熱変形の起こしにくい「ビーズ法ポリスチレンフォーム」(厚さ20mm～60mmまで対応)を採用した「高断熱仕様」,「ALC50mm改修仕様」,フェノールフォーム板20mmの「耐火仕様」を品揃えする。表面意匠は、リブ無し・リブ有りの2種。オプションにドロ目・杉目加工有りも揃える。材質は、カラーガルバリウム鋼板(0.5mm厚)、カラーアルミ(0.5mm)。

元旦ビューティ工業は、「屋根の総合プロデューサー」として、各種の屋根製品をはじめ、「屋根一体型ソーラー発電システム」や屋根一体型「元旦トップライト」などをトータルに展開する。それら製品の信頼性は、「漏らない、飛ばない、責任施工」をモットーにする屋根施工のスペシャリスト集団「元旦会」の高い技術力に裏付けられている。

新商品の屋根・壁兼用材「元旦くろす50」は、これまでに培ってきたノウハウと経験にもとづき、新たな建築デザインの創出をめざす外装材として開発された。同時に屋根と壁のトータル受注活動をいちだんと強化する狙いもある。

元旦の外装材は、機能性と意匠性を満足させることを基本コンセプトに開発されている。今回の「菱形外装材」は、屋根にも壁にも採用でき、いまの住宅外観スタイルを一新できるほど独創性に溢れている。建物外観を引き立てるアクセント使いなど、設計自由度の高いデザイン要求にも対応できる。この新商品をテコに戸建住宅や店舗等非住宅分野におけるデザイン外装材の提案、受注活動を加速させている。

ケイミュー

「グラデーション塗装」等の新塗装技術を活かした「魅せる外壁材」拡販、「光セラ」「親水セラ」の高級品約4割

【新商品】■窯業系外壁材——□2015年秋の

新商品◆フルカラージェット品新色追加：◇ネオロック・光セラ16セラトピア「グランガル」(3色追加)・「カンビオ」(1色追加)。天然石の自然な素材感を表現した重厚感と深みのあるカラー。◇エクステリアセレージ・光セラ15/親水セラ15Pixcera「グラード」(焼き物のナチュラルな表情がモチーフの2色)・「エストレモウッド」(古木の味わいを残しつつコーディネートしやすい2色)。

◆清楚な気品と清涼感が漂う「より白い白」の追加：◇セラディール・親水パワーコート16グラシア「メテオール」/エクセレージ・親水14「スマッシュライン」。洗い立てのホワイトシャツのような清潔感あふれる白さを実現。◆カフェスタイルに合う白色：エクセレージ・親水14「ラフレンガ」/エクセレージ・親水14「ニュータイル」。

□2015年2月の新商品◆ネオロック・光セラ16/親水セラ16「ビーンズスタイル グラデーション塗装」：新塗装技術により釉薬タイル風の深い色合いを表現した3色。タイル張り風の高級感ある住宅マッチする。◆エクセレージ・光セラ15/親水セラ15Pixcera「ジェイド」：フルカラージェット塗装の特長を活かし、微妙に異なる多彩な色調でリアリティを表現。日向では造形自身の陰影で、日影ではフルカラージェット塗装の色彩感が魅せる商品。◆ネオロック・光セラ16「セラトピア ディズニーシリーズ」：新キャラクターを追加。

■金属サイディング「はる一番」——□2015年春の新商品◆デザインシリーズ16「切石柄Ⅱ」：細かく裁断した薄い割石を積み重ねたようなデザイン。和風住宅を中心にしたリフォーム縦張りに最適。全5色。◆シンプルシリーズ16「スタイリッシュライン柄」：不規則な深さ・角度・ピッチを持ったラインデザイン。和風から洋風までモダンテイストでの幅広いコーディネートが可能。全5色。◆デザインシリーズ16「銘木柄Ⅱ」：銘木アイボリーホワイトを追加。

【現況】 屋根・壁・雨といの住宅外装材のリーディング企業。2018年度売上1500億円を目標に掲げ、市場縮小の中で量から質、価値を前面に押し出した営業展開を進め、主力3事業ともシェアを拡大している。

外壁材事業は、窯業外壁材と金属サイディングをトータルに展開する。窯業外壁材は、汚れを分解、

ケイミュー・ネオロック・光セラ16セラトピア「グランガル」
趣のある砂岩テクスチャー



雨で洗浄する「光セラ」(大気浄化・汚れ分解・超親水性・高耐候性)、雨で汚れを浮かせて流す「親水セラ」、色褪せパワーコートに親水コーティングした「親水パワーコート」、アクリルシリコンクリヤーコーティングの「パワーコート」の4つのコーティング外壁材を用意し、ワンランク上の外壁材シリーズを展開する。とりわけ「光セラ」は、大気中の有害物質を無害化する効果をもつ環境対応商品で、業界唯一の光触媒工業会(PIAJ)の認定取得商品でもある。

販売傾向をみると、主力商品は14.15mm厚「エクセレージ」で販売全体の過半数を占める。続いて16.18mm厚「ネオロック」が約30%、16.18mm厚「セラディール」が20%弱を占めている。とくに新技術「グラデーション塗装」をはじめ「フルカラーセラジェット塗装」などの塗装技術を採用した「魅せる外壁材」で高付加価値商品の販売増に力を入れている。

高級品には「光セラ」「親水セラ」にスーパーKMEWシールとのセット使用で「色15年保証」を実施しているものがある。高級品としての「光セラ」「親水セラ」コーティング商品は、販売全体の40%強を占めている。こうした高意匠・高付加価値商品の拡大と、非住宅物件への採用拡大、リフォーム需要の取り込みに重点を置いている。

一方、金属サイディング「はる一番」は、商品バリエーションの拡充に取り組んでいる。中級品が販売全体の60%を占める。廉価品30%、高級品10%を大きく上まわっている。売れ筋商品は、「デザインシリーズ16」の2色塗装や、「シンプルシリーズ16」のスリムウェーブなど、意匠性と値頃感のバランスの取れた商品。

また、戸建住宅向け9割、非住宅向け1割の販

売比率で、非住宅分野での需要拡大をテーマにする。新築とリフォームの販売割合は5対5と、業界平均に比べて新築向けの比率が高い。とくに、リフォーム分野では、寒冷地の凍害対策で大きな支持を得ている窯業外壁材「セラディール」との相乗効果を狙い市場浸透を図っていく考えだ。

ニチハ

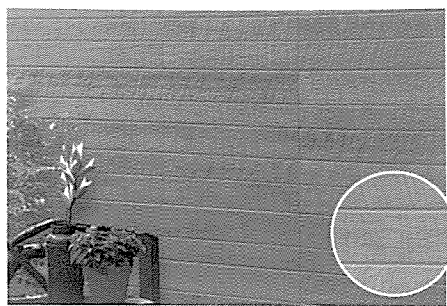
業界トップレベル「15年保証」対応の新世代外装材「Fu-ge」シリーズ大好評、住宅の長寿命化を実現

【新商品】■窯業系外装材——新世代外装材「Fu-ge（フージュ）」シリーズ：昨年7月新発売。特長は、①継ぎ目が目立ちにくい「四方合いじゃくり」、②汚れにくいシーリングレス仕様の「ドライジョイント工法」、③超耐候性塗装「プラチナコート」（変色・褪色10年保証）、④さらにメンテナンスコストを大幅に削減できる高付加価値商品「Wプラチナ」で「変色・褪色15年保証」に対応——◆11月新発売予定「Fu-ge」の第5弾「カルナウッド」：グッドデザイン賞受賞の「キャストウッド」の意匠をモチーフにした独自の塗装技術ワイピング塗装を採用。◆モエンエクセラード16Fu-ge「モベルウッド」「タンレビ」「エコルセ」「ラトワール」「ラシュリーズ」「ルボン」「スプーモ」等を追加。四方合いじゃくり商品は、業界トップの16柄78品番の拡充。◆モエンエクセラード16オペリアシリーズ「ウッドシェイク」/モエンアートマスターシリーズ「アドリアストーン調」/モエンサイディング-14「パティナウッド」等を追加。

◆カーボンオフセットサイディング「モエンエクセラード アドヴァンス」：国産木材チップを原材料に使用した「オフセットサイディング」の進化版。「オフセット-クレジット（CO²排出権）」が付属しており、張るだけで環境貢献できる外壁材。これらエコ外壁の生産・普及による日本の森林を守り地球温暖化防止に貢献する「ニチハ外壁プロジェクト」は、「第1回ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）2015」の優秀賞を受賞した。

■金属製外壁材「センターサイディング」——◆iシリーズ「イノセント」「トリコルド」/プレミアムシリーズ「FB型デフィーボーダー プレミアム」「FB型スレッジプレミアム」/t-colorシリーズ「FB型スレー

ニチハ…新世代外装材「Fu-ge」シリーズの「モベルウッド」、人気の木目調デザインを強化



ドロック」/モノカラーシリーズ「FBカタデフィーボーダー」などを新発売。

【現況】 窯業系外壁材「モエンエクセラード」「モエンアート」「モエンサイディング」、金属製外壁材「センターサイディング」など、業界随一の商品構成力を誇る住宅外壁材のトップメーカー。日本の森林資源を守り地球温暖化防止に貢献する取り組みの「ニチハエコ外壁プロジェクト」が、第1回ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）の優秀賞を受賞するなど、セメントと木繊維の混合建材である窯業系外装材と環境貢献活動を結び付ける商品開発に取り組んでいることでも知られている。

窯業系外装材の売れ筋商品は、「Fu-ge」16mm厚の6尺サイズ。「四方合いじゃくり」仕様、シーリングレスの「ドライジョイント工法」で継ぎ目の目立たない一体化のある壁面を演出、超耐候塗料「プラチナコート」が30年相当にわたり美しい外観を保ちつづけ、メンテナンスコストを大幅に削減、住宅の長寿命化を実現する。

高級品は、独自の塗装技術を駆使した高デザインの各シリーズで構成する。21mm品の光と影を開発テーマに、深いエンボス・光沢を抑えたマット塗装・モノトーンの硬質感を実現した「風光」。16・18mm品のワンランク上の概観を実現する次世代インクジェット塗装の「i-cube」「オペリアシリーズ」。特許技術である「ワイピング（掻き取り）塗装」を採用した木目調「キャストウッド」。さらに、機能性商品として人気の遮熱塗装「ソルガード」品など、高意匠・高機能商品を展開する。これらの高級品は、販売全体の10～15%程度を占めている。

一方、金属製外壁材「センターサイディング」の人気商品は、自然な風合いを実現するフルカラーインクジェット塗装で、高耐候コーティングとマイクロ

ガード（セルフクリーニング機能）を付加した「iシリーズ」。販売全体の10～15%程度を占めている。とくに4月新発売の「イノセント」「トリコルド」が住宅リフォーム市場で好評を得ている。

金属製サイディングは、軽量で耐震性能にすぐれ、抜群の断熱性能で冷暖房費を削減できるエコ外壁材。とくに、住まいながら短期間で外壁改修できる「重ね張り工法」に最適な商品。リフォームと新築の販売はおおよそ65対35の比率。さらに、非住宅向け商品として、店舗・事務所・低層マンションに対応できる「CS型センタースパンNプレミア」などの軽量鉄骨造防火認定品をラインナップする。非住宅向けの販売はおおよそ10%程度。

いま取り組んでいる金属製サイディングの「デザイン革命」により、ストック住宅を現代風に「RE-デザインする」ことが可能になれば、リフォーム市場全体の押し上げ効果が期待できると考えている。

YKK AP

人気の「深絞りシリーズ」に価格対応力に優れた「ロカストーン/ビットストーンツートン塗装品・単色塗装品」

【アルミ外装材「アルカベール」】■高級グレード——◆深絞りシリーズ・クオリティジェット（フルカラーインクジェット塗装品）：石英の石肌をモチーフに自然石の重厚感を備えた「シャイニークォーツ」。大谷石のやわらかく暖かみのあるテクスチャーの「クリアパミス」。◆深絞りシリーズ（マトル塗装品）：「幸石」「恵石」「きらめき」「ピエールストーン」「エフィカストーン」「ビットストーン」「ロカストーン」。◆スタンダードシリーズ（ラミネート品）：伝統的な和の表情「タテ張り焼杉調」。

■中級グレード——◆深絞りシリーズ（ツートン塗装品・単色塗装品）：新商品「ロカストーン」「ビットストーン」：天然石の小端積み柄。コストパフォーマンスに優れた深絞りのミドルグレード商品として追加。◆モダンシリーズ（フッ素塗装品）：「ラインパークスパン」「ラインパーク」。◆ハイスタンダードシリーズ（ツートン塗装品・単色塗装品）：「フレス」「カーレ」「ロンド」。■普及グレード——◆「ノベルライン」「ヨコ張りスタック」「タテ張りスタック」。

【現況】 アルミ外装材「アルカベール」シリーズ

YKK AP…人気の深絞りシリーズに価格対応力に優れた石積み柄「ロカストーン」



を全国展開する。アルミ外装材の特長を生かした快適な住まいづくりを提案。「アルカベール」の特長は、1㎡あたり1.9kgと軽量で躯体への負担を軽減できること。地震に強いこと。30m/s相当の台風でも漏水しない防水性能。さらに、高耐久性・耐凍害性・断熱性・遮音性などのメリットをあげている。

「アルカベール」は、戸建住宅向けに展開するが、リフォーム向け80%、新築向け20%と、軽量さ、施工性の良さを活かし住宅外装リフォームに最適な商品として浸透を図っている。

販売傾向をみると、主力商品は高級グレードのマトル塗装品の「深絞りシリーズ」で販売全体の約60%を占めている。「マトル塗装品」は、金属とはおもえない色の深みとニュアンスを表現するYKK AP独自の塗装方法。見る角度・光の角度によって見え方が変化する自然石の質感を再現できることが特長。

人気の深絞りシリーズに、価格対応力にすぐれた中級グレードのツートン塗装品・単色塗装品「ロカストーン」「ビットストーン」を追加発売した。中級グレードの「モダンシリーズ」「ハイスタンダードシリーズ」につづくもので、ポリウムゾーンの商品構成が厚みを増すことになる。

金属サイディングの人気デザインであるスパン系商品「ラインパーク」は、販売全体の20%と拡大をつづけている。「モダンシリーズ」は、塗膜10年保証のフッ素塗装品だが、中級グレードの価格帯で販売していることも特長。こうした高付加価値商品やコストパフォーマンスに優れた商品を主力に、玄関や窓まわり商品を含めた住宅外観リフォーム需要の拡大をめざしている。

ナブコグループ全国販売推進運動

「新規・更新受注拡大によるストック増」
「シェアアップ」「ブランド価値向上」をテーマに展開、
景気の動向に左右されない磐石の基盤を築く



三代洋右社長

ナブコグループは10月28日、大阪市の帝国ホテル大阪で、「第36回ナブコグループ全国販売推進運動」表彰式および「経営者研修会」を開催した。

表彰式の冒頭、ナブテスコ(株)住環境カンパニーの三代洋右社長は、「今年上半期の生産台数は業界各社を上まわる伸びを達成したが油断は禁物です。建設市況も2020年までは強いと見られていましたが、昨今の中国、欧州景気の停滞が長引き、これは世界景気にも長期的なマイナス影響を与えようとの見方によってきており予断を許さない状況にあるとおもっている。ナブコグループとしては、今後とも気持ちを引き締めて、世の中に安全、安心、快適を提供し、より社会にお役に立てるように専念し、景気の動向に左右されない磐石な事業基盤を築いていかねばなりません」と挨拶した。

今回の運動は、「新規・更新受注拡大によるストック増」および「シェアアップ」、仕事の質の向上を通じた「ブランド価値向上」の2つをテーマに展開された。自動ドア販売は、国内年間据付台数の50%超、業界のテーマとされる取替え需要も販売全体の35%の実績をあげたことが運動をつうじて確認された。地域別には、東日本・北日本5、西日本4、九州1の販売比率。

「自動ドア・開口部部門」、「設計折込・顧客訪問活動部門」、特別賞「販売推進自動ドア期間賞」、メーカー賞「ナブコみらいアワード」、さらに「地区優秀賞」についてそれぞれ表彰がおこなわれた。この内「自動ドア・開口部部門」の第1位受賞拠点は以下の通り——◇Sブロック：東京／ナブコシステム株式会社のプロジェクト支店、東京支店、東京メンテナンス支店。◇Aブロック：北海道／ナブコシステム株式会社の札幌支店、箱館・苫小牧・旭川・稚内・帯広・釧路・北見の各営業所。◇Bブロック：富山／ナブコシステム株式会社富山営業所。◇Cブロック：奈良／ナブコシステム株式会社奈良営業所。◇Dブロック：徳島／有限会社徳島自動ドア。

引き続き「経営者研修会」は、カリスマ販売員としてフジテレビ通販キャスターを務めた、「売れる売れる研究所」の橋本和恵氏を講師に招き、「販売のプロが教える 顧客づくりのための会話術」をテーマに講演が行なわれた。

YKK AP

玄関リフォーム商品「かんたンドアリモ」の「アフター省エネ住宅ポイントキャンペーン」12月30日まで実施

YKK APは、玄関リフォーム商品「かんたンドアリモ」でリフォームをおこなったユーザーを対象にした「アフター省エネ住宅ポイントキャンペーン」を10月1日から12月30日まで開催する。キャンペーン応募者の中から抽選で200人にカタログギフト商品がプレゼントされる。

開口部リフォームの動機付けになっていた省エネ住宅ポイントが、遅くとも11月30日までに終了する。この間、玄関リフォームの販売は前年比約200%と好調で、こうしたユーザーニーズにエコポイント終了後も対応していくことが狙い。対象商品は、リフォーム玄関ドアの「ヴェナートRD」「プロントRD」、リフォーム玄関引戸「れん樹RHアウトセット」「れん樹RH」。応募キャンペーンサイト——<http://www.ykkap.co.jp/info/drcp2015w/>

「YKKAPショールーム品川」、プロ向けの体感型施設へリニューアル

「YKKAPショールーム品川」が、窓による空間の付加価値が体感できる工務店・設計事務所などプロユーザー向けのショールームへリニューアルされる。11月30日に一時閉館し、12月から着工、来年4月のオープンを予定している。

LIXIL

プロユーザー限定の会員制総合建材店の建デポ事業部を分社化、新会社「株式会社建デポ」10月1日スタート

LIXILは、全国64店舗60万会員を有するプロユーザー限定の会員制総合建材店「建デポ」を運営する事業部を分社化し、新会社「株式会社建デポ」を10月1日スタートさせた。

新会社は、資本金1億円、従業員数1261人、店舗数64店舗。代表取締役社長に小森哲郎氏を招聘した。議決権ベースの出資比率はユニゾン・キャピタル66%、LIXIL 34%。